

第3回

クラブ名	ロータリアン氏名
前橋西RC	中村 宏・高山 信夫
前橋東RC	相澤 克也
前橋北RC	岡崎 政夫
桐生RC	山口 正夫
高崎シンフォニーRC	三浦 敦朗・佐藤 昭一
大泉RC	川本 慶子・槻岡 道夫
館林東RC	持田 晃
渋川RC	堀口 勝弘・山崎 雄平
沼田中央RC	浅川 忠良・藤塚 勲・林 秀彦・今井 誠・田中 正治・武井 順一
渋川みどりRC	宮下 博躬
富岡RC	新井 恒好・浅川 達郎・小林 徹・横山 昇一
藤岡RC	茂木 勇
安中RC	田口 晴也
富岡かぶらRC	新井 勝夫・高橋 邦彦

第4回

クラブ名	ロータリアン氏名
前橋RC	笠原 啓輔
前橋西RC	町田 庄吉・野村 品司
前橋東RC	田中 盛次
桐生RC	竹内 靖博
桐生西RC	稲森 幸雄
桐生中央RC	北川 泰久
伊勢崎RC	中里 盛人・根立 秀治・大澤 孝一
高崎RC	村山 幸雄
高崎東RC	市川 武・須藤 賢一
高崎シンフォニーRC	三村 浩司
太田RC	野村 茂雄・竹内 正幸・塚越 法男・吉田 勝
館林RC	浦野 隆
大泉RC	俵山 秀俊
館林西RC	三田 正治・中繁 基・大越 正禎・内田 年一
渋川RC	堀口 勝弘・永井 勇
沼田RC	櫛淵 光彦・桑原 裕・水石 清治
沼田中央RC	北野浩司郎・中村 充明・山田 晃・山田 豊
渋川みどりRC	宮下 博躬
富岡RC	茂木 龍治
富岡中央RC	清水 延雄・勅使河原正己

第5回

クラブ名	ロータリアン氏名
桐生RC	藤井 征夫
桐生西RC	金子 福松
桐生中央RC	長澤 宥
太田RC	津久井義孝
沼田RC	横山 公一
沼田中央RC	金井 利夫
渋川みどりRC	小林 政貴・佐藤 徳三
富岡RC	松倉 紘洋
藤岡RC	清 章司

第6回

クラブ名	ロータリアン氏名
前橋RC	江原 毅
桐生西RC	山岸 泰男
桐生中央RC	毒島 一夫
高崎セントラルRC	柳澤 佳雄

第7回

クラブ名	ロータリアン氏名
太田南RC	深澤 賢治
渋川RC	堀口 靖之
沼田中央RC	國府田 坦
富岡かぶらRC	武田 泰重

第8回

クラブ名	ロータリアン氏名
渋川RC	堀口 靖之

第9回

クラブ名	ロータリアン氏名
桐生西RC	根本 正則

第10回【メジャードナー】

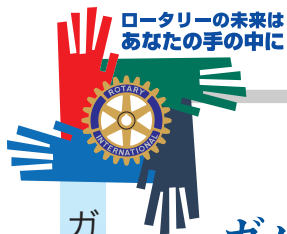
クラブ名	ロータリアン氏名
高崎北RC	重田 政信
富岡RC	村上 明男

第11回【メジャードナー】

クラブ名	ロータリアン氏名
館林東RC	吉田 和美

米山功勞クラブ (2008年7月1日～2009年6月末日)

回数	クラブ名称	回数	クラブ名称	回数	クラブ名称
第35回	前橋RC	第21回	前橋北RC	第15回	前橋南RC
第6回	前橋中央RC	第32回	桐生RC	第30回	桐生西RC
第15回	桐生中央RC	第11回	桐生赤城RC	第21回	伊勢崎RC
第18回	高崎南RC	第17回	高崎東RC	第8回	高崎シンフォニーRC
第37回	太田RC	第20回	太田南RC	第5回	太田中央RC
第25回	館林RC	第3回	館林ミレニアムRC	第25回	渋川RC
第23回	沼田RC	第24回	沼田RC	第25回	沼田中央RC
第9回	渋川みどりRC	第20回	富岡RC	第15回	藤岡RC
第12回	安中RC	第9回	藤岡北RC		



ガバナー賞 受賞理由

ガバナー賞

クラブ名	受賞内容
前橋南	米山記念奨学の心を生かし留学生にあたたかい支援で「夢をかたちに」を実施
桐生中央	休耕地を保育園児と耕して「夢をかたちに」を実施
群馬境	WCSプログラムでフィリピンの子供たちを支援し「夢をかたちに」を実施
高崎北	人材の育成、クラブ奉仕の実践と地区をリードし「夢をかたちに」を実施
新田	台湾の友好クラブとの絆で実現した「マスク寄贈」のインフルエンザ対策
館林ミレニアム	「魅力あるクラブづくり」に邁進したクラブ運営
沼田	地区の模範となる「青少年育成・財団支援・充実したクラブ運営」
富岡中央	アイディアと実行力そして慈愛の心で「国際奉仕・社会奉仕」を実施

ガバナー特別賞

クラブ名	受賞内容
草津	まさしく「ロータリーの心」先人を偲ぶ慰霊碑の建立

物故会員 (敬称略)

2008年	7月25日	高橋郁雄	沼田中央RC
	8月7日	小柏龍彦	高崎RC
	8月12日	梶塚喜作	新田RC
	8月18日	神藤義昭	太田南RC
	9月25日	新井二男	太田西RC
	11月20日	堀越茂夫	高崎東RC
	12月9日	田村榮一	前橋北RC
	12月12日	下山昭三	桐生南RC
2009年	2月4日	中島廣志	太田RC
	2月10日	関田純安	桐生赤城RC
	3月11日	田部井多門	館林RC
	3月19日	天田卓二	群馬境RC

衷心より追悼の意を表します。



会員組織強化委員会



委員長 菊池 榮作
(伊勢崎RC)

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」RI会長ジョン・ケニーはテーマを発表、そして牛久保ガバナーは会員増強とクラブ組織強化は地区として極めて重要な問題であり、この課題が解決されないと、地区活動に重大な影響が懸念されると会員増強が今年度の最大事業であると強調されました。

増強は現下の社会、経済情勢から誰もが難しい局面であると指摘するでしょう。しかしそれを理由に放置しておくならば、クラブは勿論組織も衰退してしまいます。

ロータリーは一世紀の歴史の中で、ロータリー運動を破壊しかねない大きな3つの試練を経験しました。第1次世界大戦と大恐慌と第2次世界大戦であります。しかしロータリーはこの乱流の中、生き残ったばかりでなく成長、進化し続けてきました。

我々は、ロータリーの幾世代ものロータリアンの知恵と勇気を学び会員増強にチャレンジしなければなりません。真剣だと知恵がでる、いい加減だと言い訳ばかりロータリーの未来を決定する責務を真剣に考え努力したいと考えています。

- 委員長：菊池 榮作 (伊勢崎RC)
委員：千木良芳明 (前橋西RC)
委員：八木橋祥价 (桐生RC)
委員：山崎 泰男 (伊勢崎中央RC)
委員：田島 五郎 (高崎南RC)
委員：石塚 栄 (太田中央RC)
委員：石井 信義 (館林東RC)
委員：阿形 登氏 (沼田RC)
委員：伊原喜久雄 (富岡中央RC)
アドバイザー：津久井義孝 PDG
担当副幹事：藤丸 兼一 (伊勢崎RC)

会員増強セミナーの開催

6月6日(土)クレインパーク山楽荘(伊勢崎)に於いて、地区会員増強セミナーを開催、会員143名の参加を頂きました。RRIMC桑原茂氏を招聘し「ロータリーの重要な問題を考えよう」をテーマに基調講演をしていただきました。桑原さんは、ロータリーに対する思いを熱心に語り大変有意義な時間をもつ事が出来ました。午後は「会員増強事例及び方針発表」という事で純増クラブ18クラブの発表を行い、クラブの現況や問題を話し合い、今後の対応策の参考にしました。具体的に「増強秘快107条」からなる参考資料を各ガバナー補佐に配布し、会員増強分区会議において各クラブにこの資料を推奨していただき、数値目標の計画、推進をお願い致しました。特にクラブ内に増強プロジェクトチームの開設をお願いしたことは効果を上げるものと期待しています。

又、各クラブが「会員組織の強化充実」を計り、より成長した組織の総合力を創り上げ、会員にとって居心地の良い魅力的なクラブ運営を実践し退会防止に努めたい。

広報(オンツー・モントリオール)委員会



委員長 松本 好夫
(伊勢崎東RC)

委員長：松本 好夫 (伊勢崎東RC)
 委員：酒井 次男 (高崎セントラルRC)
 委員：佐藤 正雄 (前橋中央RC)
 委員：市川 秀一 (渋川RC)
 アドバイザー：山崎 學 PDG
 担当副幹事：新井 良和 (伊勢崎東RC)

今年度 広報・オンツー・モントリオール委員会では、「ロータリークラブの活動を広く地域に理解されるよう広報活動を行っていく」として、行動しておりますが、年度始めの事業計画・年間計画につきましても、まだ半分にも満たない状況かと思えます。特に各委員会・各クラブとの連携した活動については、今後、行事を実施するところも多いと思われまます。より一層の情報収集と連絡を取り、広報ならびに成果の発信をしていきたいと思ひます。

報道機関との関係維持につきましては、ガバナー・地区幹事のお力を頂き、連携をとっております。今年度は、新たにテレビでの広報活動も視野に入れ、ロータリークラブの活動を発信するべく準備中です。その際には、各委員会、各クラブのご協力をお願い致します。

また、すでに実施されたインターアクト地区大会は、信澤委員長のお骨折りで、上毛新聞社会面に記事掲載されました。今後も各委員会、各クラブと連携し、活動の告知、成果を発信して行きたいと思ひます。

オンツーモントリオールにつきましては、2010年6月20日より開かれます国際大会に、

当地区のメンバー多数参加いただけますよう、参加しやすい企画をしました。カナダのモントリオール・ケベックは、ヨーロッパの中世を思わせる都市です。フランス人によって入植・開拓が行われた為、同じ北米でも、他の地域とは一味違う旅が、できるのではないかと思ひます。是非この機会に、ロータリー国際大会にご参加下さい。

広報活動は、ロータリーアン全員のものです。これからも広報活動にご協力下さい。

管理運営委員会



委員長 川堀 良治
(桐生南RC)

委員長：川堀 良治 (桐生南RC)
委員：家住 慧路 (桐生西RC)
委員：川村 隆 (桐生RC)
委員：竹澤 悦男 (太田RC)
委員：矢端 和之 (前橋RC)
委員：須賀 守 (富岡かぶらRC)
アドバイザー：曾我 隆一 PDG
担当副幹事：森田 高史 (伊勢崎RC)

牛久保年度がスタートして早くも3か月余りが経過し地区の活動も順調に推移しておりますので、一安心致しております。今年度の大きな目標として会員増強が取り上げられておりますが、言わずもがなでここ数年はロータリークラブにとって正に存亡の危機を迎えていると言っても過言では無いかと思われま

す。ロータリークラブの基本は親睦と奉仕と心得ておりますが、これらは全て楽しい例会、マンネリを打破した例会を継続する事無くしては成り立ちません。2009～10年度のRI会長でありますスコットランド出身のジョン・ケニー氏の提唱するスローガン「The future of Rotary is in your hands」の示す通り、ロータリーの未来は私たち全ての手の中に有るのだと思います。皆に平等に皆に公平に総ての会員が一丸となれば会員の増強も難しい事ではないと思います。

私ども、管理運営委員会は牛久保年度の年次目標の7項目の実践に全面的協力をしながら、CLPの導入の促進及び運用支援、ロータリー情報の共有並びに地区と各クラブ間の橋渡しとしての活動をして参ります。

お陰様をもちまして、出前卓話も順調に推移しており、多くのクラブから卓話依頼をお受け

しております。今後も魅力的な講師を派遣して参りますので存分にご活用下さい。

地区管理運営委員会の最も重要な任務は、地区と各クラブとの伝令役及びクラブ活性化の支援で有ると考えております。又、近年ではインターネットが普及し地区とクラブ間の情報交換はメールを使用するケースが大変多く成っており、これにはIT委員会のご協力が是非とも必要と成ります。IT委員会と協力しながら情報交換のお手伝いをして参ります。

各クラブレベルでの研修支援やクラブ指導者育成セミナー開催支援等も実践致します。出前卓話の一覧には乗っておりませんが、地区研修委員も派遣可能で有ると考えますのでご要望が有れば御連絡下さい。

クラブ活性には色々な方法が有ると考えますが、新入会員による新しい風、クラブ運営方法の再検討、例会のリニューアル、外来講師による面白い卓話等々、各クラブで必要と思われる改善を実践して行く事が必要と思われま

す。私ども地区管理運営委員会はロータリークラブの中では雑用係であると認識しておりますので御遠慮なくお使い下されば幸いです。ご意見ご質問、お叱り等御座いましたらどしどしお寄せ下さい。

IT委員会



委員長 横田 貞一
(高崎北RC)

委員長：横田 貞一(高崎北RC)
 委員：渡邊 常二(沼田中央RC)
 委員：毛塚 宏(館林RC)
 委員：春山 和夫(太田RC)
 委員：原 邦昭(群馬境RC)
 担当副幹事：瀬下 佳大(伊勢崎RC)

第2840地区にIT委員会が設置され、今年で丁度8年目となりました。

これまでの間、IT委員会では、各クラブにCICOの設置を推進し、2840地区ホームページの開設や月信のpdf化によるダウンロード、地区ドメインの統一及び各クラブにメールアドレスの配布を行い、事務局及びCICOのメーリングリストの作成、又、ホームページを持たないクラブに対し作成支援と更新支援等々地区及び地区内のIT化推進を図ってまいりました。こうした結果、地区内クラブのホームページ保有率は、クラブ独自で構築したサイトを併せ、現在87.2%にまで保有率を上げる事が出来ました。内訳は、クラブ独自作成サイトは約66%、地区支援によるものは約21%であります。更に、各クラブへID及びPWの配付等をおこない、地区Webサイト内でのクラブHPに関する管理責任を確立するように図りました。

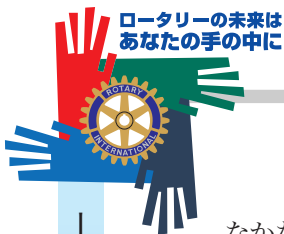
本来、クラブのHPサイトの運営はクラブの自己責任で行うべきものであり、クラブのRC情報発信の場でもあります。こうした基点をもって、IT委員会では、今後も、クラブホームページの開設及び更新等については、各クラブと協議の上、相談し、支援を行うよう図って参りたいと思います。IT委員会で行ったWebサイトのモニタ

ーの実施により、地区RACのドメイン等が継続の手續きを行わないまま放置され、失なっている事態も発覚いたしました。Webサイトでは、ドメイン等の管理を確実にを行う体制が継続され、維持されることが重要です。RACの管理はIT委員会の管理外でありますので、地区RAC委員会へはこうした内容を通知し、お知らせをいたしました。

一方、Webサイトのモニター結果により、RC年度変わりの更新ができていない未更新クラブは、当初(7月調査時)のモニター時では、全体のサイト数の60.1%となっており、推移を見守っていましたが?順次更新され、結果(8月調査時)29.2%となりました。更に、分析した結果、地区支援でサイト構築をしたクラブで更新等ができていないクラブは約30%であり、約70%のクラブができない状態である事も判明しました。

更に、クラブ独自で作成しているHPサイトにおいても、約16%が年度の更新ができておらず、クラブHPサイトの維持・継続がクラブ内で難しい現状を示しております。

こうした未更新のクラブに対しては、IT委員会では、各クラブの会長・幹事様に、現状をお知らせし、順次、適切な更新等を図るようお願いしておりますが、クラブ内での事情も絡み、



なかなか対応・更新は難しいようです。しかし、これを機に、クラブ内でサイトアップ等を確実にできる体制の構築を図るクラブもでてきており、確実な進捗を見ております。9月時の調査では、未更新クラブは、9クラブ(21.9%)、地区支援でサイト構築をしたクラブですがIT委員会の働き掛け等によりその後クラブ内で更新等ができていたクラブは、60%となりましたが、依然として対応等が取れていないクラブは40%となっております。クラブ独自で作成しているHPサイトにおいては、約16%から6.4%(2クラブ)となり、内1クラブは接続不能の状態となっておりますが、改善され、更新されるようです。結果、1クラブを残すのみとなりました。

IT委員会ではこうしたモニター調査と呼び掛け及び接続情報等の配付開示等の支援等を行いました。Webサイトの有効活用をクラブでご認識いただき、クラブのHPサイトについて更にご検討いただき、図っていただければと思います。

今後も、IT委員会では、クラブのHPサイトの運営管理状況を継続モニターし、適切な更新等を各クラブにお願いし、支援要請等があれば、対応し、又、こうした事に関する研修等の企画を図り、事務局で対応ができるようにした対策と推進を図って参りたいと思います。

地区Webサイトの活用においても、地区の委員会活動におけるRC情報の周知、掲示、通達及び結果報告等々において、ITを利用した効率的な情報伝達と豊富な画像資料を添付した情報等々を提供し、会員各位が簡単にアクセスし、情報共有化が図れるように取り組んで参ります。

【IT委員会の目的】

RIと地区、地区内47ロータリークラブとの効率的な情報伝達と情報の共有化を図るために、各クラブの、IT化の促進を図り、IT環境整備等の基盤整備の支援を行う。

委員(CICO)の任命設置をお願いし、クラブのIT化促進の為の有効な支援策を協議し、各クラブの情報基盤整備の促進を図る。

【本年度基本方針】

- 1.各クラブのIT化推進及び基盤整備等の支援を行い、RIと地区、地区内ロータリー情報の共有化基盤の確保を図る。
- 2.地区WEBサイトの充実を図り、クラブ及びロータリアンの利用促進を図り、地区内ロータリー情報の共有化基盤を確保する。

【実施内容】

- ・第2840地区Webサイトの運営管理及び牛久保年度ホームページ開設及び情報発信支援
- ・第2840地区内ロータリークラブのホームページの更新支援
昨年度IT委員会でホームページの作成支援を行ったクラブに対し、要請があったクラブに対し、更新作業の支援を行なった。
- ・各クラブのIT化状況及び内容等の把握の為、Webサイトモニターの実施
- ・各クラブのIT化促進の為、先駆的クラブの事例等の情報収集と紹介
各クラブの事務局及びCICOのメーリングリストの作成及び利用促進
各クラブの事務局及びCICOへIT化支援等の情報及び研修等の実施

職業奉仕委員会



委員長 布施 光一
(群馬境RC)

委員長：布施 光一(群馬境RC)
 委員：井上 等(伊勢崎南RC)
 委員：黒岩 保弘(前橋西RC)
 アドバイザー：横山 公一 PDG
 担当副幹事：石田 保(伊勢崎RC)

I. 委員会の目的

今年度地区目標にRIのテーマと共に「職業奉仕の原点を見つめよう」が示され地区で改めて職業奉仕委員会が設立されました。

昨今国内外で企業の倫理道德に反する行為が取りざたされています。こうしたニュースのたびに人々から企業に対した経営者に対して非難の声が高まります。私たちは企業の経営者であると同時に企業を代表するロータリアンであることを自覚し、自己の職業の手腕を発揮して、社会のニーズや諸問題に役立てられるようその心を磨き真のロータリアンを目指すことにあります。

II. 職業奉仕の理念

ロータリーの奉仕活動の根底は4大奉仕といわれていますが、ロータリアンの資格はまず職業人であることからして職業奉仕はロータリーの原点であると思います。その精神は4つテストに掲げられています。2680地区田中毅パスト会長は講演の中で4つのテストについてこうお話をしています。

1. 真実かどうか「事実かどうか」「うそ偽りないかどうか」
2. みんなに公平か「すべての取引先に対して公正か」
3. 好意と友情を深めるか「信用を高め、取引先

を増やすかどうか」

4. みんなのためになるかどうか「すべての取引先に利益をもたらすかどうか」

こうした心構えでのサービスがやがて高い倫理性を持った事業所になり顧客の満足度を高め企業の永続的發展と成功をもたらす唯一の方法なのです。そしてロータリアンが職業奉仕理念に基づいた正しい経営をし、それによって事業が継続的に發展をすることを実証すれば、必ずや他の同業者たちもその経営方法を見習うはずですし、それが結果として企業倫理の高揚につながるはずです。

職業奉仕活動の実践による受益者はロータリアン自身であることを知ってもらいたい。それが職業奉仕の結論です。と言っておられます。

III. 活動目標

職業奉仕委員会としては、その奉仕(サービス)の真意が薄れてきている今日、ロータリーの原点に返り、職業を基盤とした高い倫理性と人道的な奉仕がなされることを願い、4つのテストの奨励・実践の為に来る9月6日、伊勢崎市クレインパーク山楽荘にて、四大奉仕セミナーを開催し周知徹底することが出来ました。



社会奉仕委員会



委員長 根本 正則
(桐生西RC)

委員長：根本 正則 (桐生西RC)
委員：小野 岳彦 (伊勢崎中央RC)
委員：清水 憲明 (前橋西RC)
担当副幹事：新井 良和 (伊勢崎RC)

社会奉仕委員会の奉仕活動は、非常に幅広い奉仕活動であります。委員会としたしましては、地区がCLPを推進していると共に、地区内でも地域より社会奉仕活動のニーズの違い、また各クラブの規模・方針の違い等に寄る、活動内容が変化していると思われま

す。このような中で、地区セミナーを通じ情報伝達及び意見交換の機会を通して、助言及び協力体制を取っていきたいと思います。と同時に、ロータリー財団の人的分野の補助金申請、及び使用の促進支援を行っていきます。

また当年度、地区大会記念事業として2560地区より分割、2840地区誕生の年に21世紀の森の一部をロータリーの森と銘打ち、環境保全と水資源確保を目的として植樹・10年間の長期奉仕プロジェクトとして、下草刈り及び保植を継続して参りましたが、10年目の本年は成長いたしました森をご覧いただき、下草刈りを実行いたしました。

10年間の永きに渡りご協力いただきました、沼田中央クラブさんに感謝申し上げますと共に、ここに10年間の長期奉仕プロジェクトの完結を報告致します。

青少年交換委員会



委員長 蛭田 義徳
(太田中央RC)

委員長：蛭田 義徳 (太田中央RC)
 委員：杉浦 幸男 (高崎北RC)
 委員：山田 昇一 (前橋北RC)
 委員：豊泉 君代 (高崎シンフォニーRC)
 委員：佐藤 秀樹 (渋川RC)
 委員：渡邊 敏彦 (前橋西RC)
 委員：前原 信之 (太田中央RC)
 アドバイザー：横山 公一 PDG
 担当副幹事： 峯岸 則幸 (伊勢崎RC)

【委員会の目的】

海外の人々と交流し、異文化を体験することによって、生涯にわたる国際理解の基となる機会を青少年に提供する。

【委員会の事業】

1.短期(夏期)交換プログラムの実施 D5100 (米国オレゴン州)

Inbound
平成21年6月25日(木) から平成21年7月22日(水)



Shauna Franklin High (女)
高崎シンフォニーRC
16歳 Milwaukie

Outbound
平成21年7月22日(水) から平成21年8月21日(金)

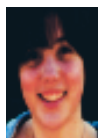


御任 流水 (女)
群馬境RC
新島学園高校1年



関 菜央美 (女)
高崎シンフォニーRC
新島学園高校1年

2.長期(一年)交換プログラムの実施 InboundD5100 (米国オレゴン州) 平成21年8月21日来日



Lauren Elizabeth DALTON (女)
高崎東RC
高崎健康福祉大学付属高校
1993.02.06



Ian Michael Scott (男)
安中RC
新島学園高校
1992.09.19

D7170(米国ニューヨーク州)平成21年8月22日来日



Ian Thomas Roger (男)
前橋RC
共愛学園高校
1994.07.31

Outbound 2009~2010



矢端 名結 (女)
安中RC 新島学園
1993.11.12 8月21日渡米
オレゴン州 Scheridan



布施川 敦子 (女)
前橋RC 共愛学園
1993.01.08 8月20日渡米
ニューヨーク州 Otego

Outbound 2008~2009 (派遣) 2009.7月.8月 (帰国)



田中 慧 (男)
前橋西RC 共愛学園
8月5日(水) 帰国
ニューヨーク州



小林 菜美子 (女)
新田RC 白鷗学園高等部
7月7日(火) 帰国
オレゴン州

【拡大活動】

受け入れ先の学校の拡大と、参加する学生並びにホストクラブ、ホストファミリーの拡大を図ります。青少年交換プログラムの重要性を理解し、拡大活動に協力していただけますよう心より願うものです。

世界社会奉仕・友情交換委員会



委員長 大島 雅彰
(富岡中央RC)

- 委員長：大島 雅彰 (富岡中央RC)
 委員：村田 茂行 (藤岡RC)
 委員：竹内 靖博 (桐生RC)
 委員：石原 一夫 (伊勢崎中央RC)
 委員：根岸 誠一 (館林RC)
 委員：佐藤 正宏 (富岡中央RC)
 担当副幹事： 峯岸 則幸 (伊勢崎RC)

当委員会は主に地区内クラブと協力し、世界社会奉仕 (以下WCSと表記) 及び友情交換を促進し、これらのプロジェクトを実施支援いたします。経過並びに計画は下記の通りです。

経過報告

- 3月14日：PETSにて世界社会奉仕・友情交換事業の紹介
- 4月4日：地区合同委員会にて今年度の委員会方針の確認。
- 4月22日～4月24日：フィリピンRID3830地区と現地河川水質改善について合同実験事業の調印。WCS現場3か所視察。群馬高専の小島先生の「炭素繊維による水質改善レクチャー」を開催。
- 5月16日：地区協議会の分科会にて各クラブ国際奉仕委員長を対象に世界社会奉仕事業のセッションを行う。終了後各委員長へアンケートをとる。
- 6月13日：委員会を開催し、アンケートの整理 (村田委員) 及び「ロータリー財団&WCSセミナー」の事前準備を行う。
- 7月9日～7月12日：フィリピンRID3830地区との合同事業の進捗確認及びクラブ保有倉庫にて炭素繊維を活用した



組み立ての指導をする。(写真右上) その後、河川の視察を行う。(写真左)



- 7月17日：炭素繊維の加工研究のため京都西陣の

工場を視察及び打ち合わせ。

- 8月25日：世界社会奉仕について卓話 (沼田RC)
- 8月29日：「ロータリー財団&WCSセミナー」にて世界社会奉仕について卓話
- 9月中旬：群馬高専小島特命教授とフィリピン河川への炭素繊維設置立会予定

WCS長期計画に基づいた開発プロジェクトについて

ロータリーの背景：RIの5つの強調事項の一つである「安全できれいな水を」は、ロータリー財団の3つの優先項目の一つとして掲げられております。そしてRIと米国国際開発庁USAIDによる「国際H2Oコラボレーション」にてフィリピン・ガーナ・ドミニカが重点3カ国となっております。

世界的状況：世界保健機構(WHO)の調査では、開発途上国における疾病原因の80%は汚水によるものであり、水に関わる病気が原因で子供達が8秒に1人ずつ死亡していると報告されています。

委員会目的：これらのテーマや報告により、私たちは海外ロータリークラブの要請に基づき、炭素繊維による水質改善プログラムを提案し、汚れた水による健康被害を防止する事業をRY2007-2008年度より継続しております。

未来計画：この事業が確立することで、私たち地区内クラブが国際貢献する新しい独自のプログラムを開発いたします。

地元の背景：炭素繊維による水質改善は地元群馬高専の特命教授である小島昭教授が発見されたものです。この炭素繊維は世界で日本の生産量が70%強を占めるものです。

インターアクト委員会



委員長 信澤 卓
(高崎東RC)

委員長：信澤 卓 (高崎東RC)
 委員：田部井敏弘 (太田RC)
 委員：新井 茂雄 (伊勢崎南RC)
 担当副幹事：石田 保 (伊勢崎RC)

[地区内2009～10年度の現況]

- クラブ数 県内16高校16クラブインターアクター334名
- 主な活動内容 募金活動、福祉施設訪問、清掃活動、地域行事参加
国際交流事業参加、赤十字活動協力、献血運動協力等

[開催済み地区行事]

- インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議
- 日時：2009年 8月11日(土) 11:30～16:00
- 場所：ビエント高崎 問屋町センター
- 参加者：インターアクター15校30名
ロータリアン16クラブ19名
顧問教師15校18名 計67名
- 内容：開会行事、ガバナー挨拶、今年度の方針説明
：各校インターアクトクラブ現況報告
：グループ討論会(奉仕の心構え インターアクトの歌、海外研修をどう活かすか)



○インターアクト 年次大会

日時：2009年 7月25日(土)
 場所：高崎市総合福祉センター たまごホール



主催：高崎健康福祉大学高崎高校 インターアクトクラブ

提唱：高崎東ロータリークラブ

参加者：インターアクター 102名
 来賓及び講師 10名
 ロータリアン 40名
 アトラクション 12名
 顧問教師 20名
 箏曲・茶道部 25名

大会テーマ：

「Yes, we can」(やればできる)

- 内容：開会式、ガバナー式辞、来賓祝辞
- ：講演「命と心の責任」
日本動物愛護協会群馬県支部
- ：アトラクション
(チアリーダー部・歌唱)
- ：昼食・箏曲
お茶とお菓子
- ：分科会(5分科会)





講演内容：

ペット（主に犬）に対する心構え、人間の接し方如何で犬の性質はおおいに変わり盲導犬や介助犬も幼時の躰で方向が決まる。近時はペットをゴミのように扱う飼い主が増えているがそのような人にはペットを飼う資格は無い。

分科会内容

「ペンケースを作ろう」



糸と針で物を縫う機会が少ないので受講生は苦労していました、もう少し家の手伝いもした方がいいかな。

「簡易分光器を作ろう」

完成されたものばかり売っている世の中なので、平らな紙の状態から形を作り上げ実際に機能するようになる過程が日常なかなか無いので完成の喜びを味わえた。



「子ども支援研修講座」



子どもに関するそれぞれのジャンルについて易しく書かれており、育児書には日常あまり触れる機会が無いので参考になったが本の多さにはびっくりした。

「手と手でハートを伝える世界」

短時間の手話教室であったが、手話が非常に機能的に作られているのには驚いた。これがカンニングに使われたらどうしよう。



「コミュニケーション・エクササイズ」

みんなで組んで一つことをするのに、自分の考えを相手に伝えるにはどうするか、協力とはどういうことなのか、体を使っての勉強になった。



【今後の行事予定】

○国際交流事業

(RI2560地区との共同事業)

(1) 台湾訪問

○日 程：2010年3月25日(木)～28日(日)

○訪問先：台北県清傳高級商業職業学校

○内 容：高校生の1泊ホームステイを含んだ交流

(2) 台湾高校生受け入れ

(今年度はRI2840地区が担当)

○日 程：2010年4月23、24日

○内 容：受け入れ高校

高崎健康福祉大学高崎高校

4月23日(金)：歓迎セレモニーの後生徒はホームステイへ

先生、ロータリアンは歓迎パーティー

24日(土)：終日観光

夕方 サヨナラパーティー

ローターアクト委員会



委員長 宮崎 洋
(高崎北RC)

委員長：宮崎 洋 (高崎北RC)
 委員：塚本 仁 (藤岡RC)
 委員：臂 友幸 (伊勢崎RC)
 担当副幹事：石田 保 (伊勢崎RC)

ローターアクトは1968年にロータリークラブの奉仕活動として発足し、2007年9月30日現在で、7092クラブ、約16万名の会員を擁しています。第2840地区においては、2009年7月1日現在で、提唱クラブ10クラブ、67名の会員が活動を行っています。

今年度のローターアクトの活動状況につきましては、先の地区協議会で発表いたしました活動方針と年間計画に基づいて、ほぼ予定どおりに進んでおります。昨年は、地区代表が不在ということになってしまい地区の活動がほとんど行われないう年度となってしまいましたが、今年度は本来の地区活動を復活させることができたことが、まずは一番の成果であると言ってよいと思われ

ます。具体的な活動については、年間計画にありましたように、最高決定機関であります会長幹事会を3カ月に1回開催し、各クラブの役員が他クラブの状況を把握しつつ、自身のクラブの活性化につなげて行っております。また、8月29日、30日には、今年度の地区行事のスタートをきって、「夏のリクリエーション」(沼田RAC担当)が、高山村

の“高山温泉ふれあいプラザ”において、参加者38名にて開催されました。バーベキュー、宝さがし、調理コンテストなど盛りだくさんの内容で、充実した時間をすごしてまいりました。また、11月21日～23日に予定されている海外研修においては、上海ロータリークラブ、上海ローターアクトとの交流を計画しており、それに向けて目下準備中でありま

す。活動方針にありましたHP作成もいよいよ完了し、各ローターアクトとの情報交換をより進める場として活用していきます。他に地区の活動としては、10月24日、25日のライラ研修への参加や、来年2月21日の地区年次大会に向けての準備を進めております。

最後に、昨年かかげた、各クラブ会員数10名以上という目標には、いまだ到達して

おりませんが、今年度は、各クラブ純増1名を第2840地区の目標に頑張っております。どうかローターアクトクラブに対しまして、ご協力

とご支援をよろしくお願い申し上げます。

ライラ研修委員会



委員長 平田 育夫
(前橋西RC)

委員長：平田 育夫 (前橋西RC)
 委員：中山 勉 (館林ミレニアムRC)
 委員：小野 文瑛 (藤岡南RC)
 担当副幹事：石田 保 (伊勢崎RC)

第9回 ライラ研修

(通算29回)

2009-2010年度 国際ロータリー第2840地区

テーマ「感謝伝心」

感謝の気持ちをどう表現していますか？ 感謝の心を伝えるために・・・

テーマについて

人は家族・友人・同僚・地域社会等、多くの人との関わり中で生きている。相手を思いやる気持ちをお互いに持ち合いながら、心から感謝し、出会った幸せを感じて生きよう。

感謝の気持ちをどう表現し、その心をどの様に伝えていくか。その努力の結果、絆が深まり人間関係をより滑らかにする社会へと進んで行くのではないのでしょうか。

ライラとは？

RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) の頭文字をとってライラと発音し日本語訳では青少年指導者育成プログラムと訳されます。

◎ライラ研修の参加者は

- ①14歳～30歳の青少年男女 ②米山奨学生 ③ロータリアンです

◎その目的は

- ①この研修は青少年指導者の資質を持つ若人に経験を積ませ、その資質の向上を図り将来良きリーダーになってもらうこと。
- ②若い人々とロータリアンが起居をともにし、ひろく意見交換をしながら親睦を計り広く知己を得て、ロータリーを理解してもらうこと。(参加費はロータリークラブが全額を負担し、参加者には修了証書が授与されます。)

●主催

国際ロータリー第2840地区
奉仕プロジェクト ライラ委員会

●ホストクラブ

前橋西ロータリークラブ

●コ・ホストクラブ

館林ミレニアム ロータリークラブ

*****ライラ研修参加者募集要項*****

- 1.日 時：2009年10月24日(土)10:30登録受付
25日(日)16:00終了予定
- 2.会 場：国立赤城青少年交流の家
前橋市富士見町赤城山27 TEL 027-289-7224
- 3.参 加 者：14歳から30歳くらいの男女(米山奨学生・留学生・交換学生は必須)
 - ・ロータリークラブの新世代奉仕委員長・ライラ委員長・留学生のカウンセラーは必ず出席して下さい。
 - ・各ロータリークラブより研修生男女2名以上必ずご推薦下さい。
- 4.登 録 料：参加者1名につき 9,000円
(登録料・交通費は各ロータリークラブで負担して下さい)
- 5.申込締切：2009年8月28日(金)までに別紙申込書をFAXまたはメールにてお送り下さい。
- 6.募集人数：200名(先着順)
- 7.申 込 先：前橋西ロータリークラブ
〒371-0026 前橋市大手町1-9-7 群馬ロイヤルホテル内
TEL 027-243-1188 FAX 027-243-8211
E-Mail maebashi-nishi@rid2840.jp
- 8.登 録 料：振込先 群馬銀行 堅町支店(タツマチシテン)
普通預金 NO1297867
第9回ライラ実行委員会 会計 平田 育夫

研修日程

1日目10月24日(土)	2日目10月25日(日)
午前	午前
10:30~11:00□ 登録・受付	6:30~ 7:30□ 起床・清掃
11:00~11:50□ 開会式	7:30~ 7:50□ 朝の集い
12:00~13:00□ 昼食・休憩	8:00~ 9:00□ 朝食
午後	9:00~13:30□ 赤城山散策・山登り
13:00~14:00□ ゲスト講演 □ 斉藤 敬蔵氏	□ 昼食・休憩
14:15~15:15□ ゲスト講演 □ 桑原 和彦氏	午後
15:45~17:30□ グループディスカッション	14:00~15:30□ グループ発表
17:30~18:00□ 諸事承り	15:30~16:00□ 閉会式
18:00~19:00□ 夕食・休憩	
19:00~20:00□ コンサート □ 地元出身グループ □ カマドウマ	
20:00~22:00□ 自由交流(入浴等)	
22:00□ 消灯	

ロータリー財団委員会



委員長 高木貞一郎
(館林RC)

委員長：高木貞一郎 (館林RC)

担当副幹事：森田 高史 (伊勢崎RC)

RI理事会が、'08年6月「ロータリー財団・未来の夢計画」を計画しましたが、この計画の具体的実施は、補助金の新しい「R財団新地区補助金、R財団グローバル補助金」という改訂されたものになって、2013～2014年度から全面実施されます。

その間2010～2013年度の3年度間は、パイロット地区を選定して現在試行期間中で、当地区はパイロット地区としての試験的参加申請は行なわず全面実施に備える様に計画しております。

まず、今年度〈2009～2010年度のR財団目標〉

- I. ポリオを撲滅すると言う約束を果たす。
- II. 財団を通じて、未来の夢計画の重点分野に焦点を当ててより良い世界の構築を目指す。
- III. 未来の夢計画を実施し、ロータリーの奉仕の新世紀を十分に支えられる様、財団の活性化と強化を図る。
- IV. 「毎年貴方も100ドルを」と恒久基金を支援する。

〈牛久保DGの今年度R財団目標〉

「ロータリー財団の目標を達成しよう」

財団の地区活動資金(DDF)を積極的に活用し、地域や国際社会に貢献刷ると共にクラブの活性化に役立てよう。

また、年次寄付、恒久基金、ポリオ撲滅の為の目標を達成しよう。

〈地区目標計画〉

DGの基本方針に則り、以下の事業計画を策定又一部実施

①寄付への協力依頼

i ロータリー財団への寄付目標

1人・100ドル以上を

ii ポリオのチャレンジ拠金

IRC・2,000ドル

今年度はDDF(地区財団活動資金)を使用。DDF・94,000ドル

◇2008年「ロータリーの1億ドルチャレンジ拠金」に続いて「ビル・ゲイツ氏のポリオ撲滅拠金」に呼応して「ロータリーの2億ドルチャレンジ拠金」を2009年7月1日より2012年6月30日まで行なう。

□2008～2009の当地区寄付実績

・年次寄付	\$241,236.02
・使途指定寄付	\$36,441.08
・恒久基金	\$17,945.00
合計	\$295,622.10

1人当たりの寄付額\$147.74

□上記の外、「一億ドルチャレンジ」としてDDFより\$28,014.00(会員@\$14.00)を拠出。

②教育的プログラムの実施

1) 国際親善奨学生の選考

(2010～2011プログラム年度)

今年度は、新制度移行準備期間なのでマルチ(2年)は、採用しない。

◇渋川ナタリ 渋川RC推薦

東京芸術大学音楽学部器学科卒業

◇星 晴佳 高崎北RC推薦

群馬県立女子大学

国際コミュニケーション学部在学中

DDF・48,000ドル 予定(2名)

□なお、2008～2009プログラム年度国際親善奨学

生2名就学中
 ☆大島梨恵子 エジンバラ大学 (英国)
 高崎RC推薦
 ☆戸丸 瑛子 シェフィールド大学 (英国)
 渋川RC推薦

2) ローターリー世界フェロースHIP
 応募者、推薦者なし。

3) 研究グループ交換 (GSE)
 今年度実施予定なし。

□前年度RID3700韓国と
 受け入れ 2008.10.13.~11.10
 派遣 2009. 4.13.~ 5.11
 団長・安藤震太郎 (高崎北RC) 氏で実施。
 DDF使用せず。前年度地区資金で充当

③人道的補助金 (DSG) の実施

1) 地区補助金
 本年度DDFを22,500.ドル申請中。
 前年度の実施1プログラムが、R財団の審査に引
 け掛かり現在、('09.9.8.) 資金の振込み未達。地区
 では'09年12月31日申請期限で申請受付中。

□前年度11RC・11プロジェクトにDDFより補助
 金交付。
 高崎RC、館林RC、大泉RC、渋川RC、沼田RC、
 藤岡RC、館林東RC、安中RC、富岡かぶらRC、
 富岡中央RC、渋川みどりRC。
 傍線RCのプロジェクトは、R財団より地区補助
 金対象としては不適格の指摘あり、現在修正して
 再報告中。

2) マッチンググラント
 今年度 DDF・57,000ドル
 地区DDF枠としてある。

□前年までの申請プロジェクトで7プロジェクトが
 「CLOSE」になっておらずR財団の処理は未済で
 あるプロジェクトは、

*MG969694
 Hostパートナー 比国 RID3830
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$13,000」「富岡RC-\$0」
 総体額\$37,364

MG865163
 Int'lパートナー 比国 RID3830
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$12,000」「富岡中央RC-\$0」
 総体額\$44,950.

*MG969720
 Int'lパートナー 比国 RID3830
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$10,000」「富岡中央RC-\$0」
 総体額\$26,150.

*MG968297
 Int'lパートナー 比国 RID3830
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$10,000」「高崎南RC-\$0」
 総体額\$40,150.

MG863634
 Int'lパートナー 比国 RID3810
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$0」「大泉RC-\$1,000」
 総体額\$20,150

MG968357
 Int'lパートナー 韓国 RID3720
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$0」「大泉RC-\$8,000」
 総体額\$37,000

*MG968322
 Int'lパートナー 台湾 RID3520
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$2,500」
 「高崎セントラルRC-\$3,000」
 総体額\$31,056

'08~'09年度の当地区DDFよりの補助金額
 \$35,500.00 (*印のもの)

□既に前年度中「CLOSE」されて完了しているもの
 2プロジェクト

MG866034
 Int'lパートナー タイ RID3350
 '08.10.8. Close
 Int'lパートナー
 「RID2840-\$7,300」「伊勢崎RC-\$2,000」
 総体額\$21,212

MG864661
 Int'lパートナー 比国 RID3830
 '08.3.31. Close
 Int'lパートナー「RID2840-\$15,000」
 総体額\$32,728.



補助金、奨学金、年次寄付・恒久基金委員会



委員長 森田 均
(澁川RC)

委員長：森田 均(澁川RC)
委員：島津 文弘(高崎北RC)
委員：関 真一(沼田RC)
委員：竹宮内敦夫(館林RC)
委員：岩井雄二郎(太田南RC)
委員：関 文彦(前橋東RC)
担当副幹事：森田 高史(伊勢崎RC)

当委員会は、ロータリー財団の主たる任務のうち、①(人道的)補助金、②(国際親善)奨学金、③年次寄付・恒久基金を担当するものである。

1.(人道的)補助金について

(1) 地区補助金(DSG)

- ・これについては、「人道性」が厳しく判断される。(ex.青少年の健全育成事業は否定される)ので注意を。
- ・地区としては、なるべく多くのクラブに申請してもらうことを勤めるが、反面、地区全体の利用可能額(本年度は、25,500ドル)について自ずと制限があるので、留意されたい。
- ・申請手続などには、厳格な要式性が求められるので、慎重に対応されたい。

(2) マッチング・グラント(MG)

- ・「2ヶ国以上のクラブが、あるプロジェクト実施にむけて協力しあうところで、それを補うもの」という定義付けを、まずは理解されたい。
- ・このシステムも、プロジェクトの内容限定、利用可能額の制限さらには手続における厳格な要式性などが求められるので、慎重に対応されたい。

2.国際親善奨学金について

- (1) 当地区としては、本年度、1学年度奨学生2名を採用した。なお、その支給額は各25,000ドルとなっている。
- (2) 優秀な応募者確保のため、各クラブの本制度に対する理解と積極的対応を期待する。

3.年次寄付・恒久基金などについて

- (1) 年次寄付「毎年あなたも100ドルを」の推進を
牛久保年度の寄付目標は、国際ロータリーの要請と同額である。
- (2) 恒久基金の活用を
基金の運用収益を、財団の活動資金として活用する(但元本は戻らない)。
- (3) その他
大口寄付(1万ドル以上)の達成者を勧奨したい

研究グループ交換・学友会・ポリオプラス委員会



委員長 竹内 正幸
(太田RC)

委員長：竹内 正幸 (太田RC)
 委員：野村 品司 (前橋西RC)
 委員：都筑 秀雄 (中之条RC)
 委員：森下 正教 (桐生中央RC)
 委員：南 吉松 (草津RC)
 担当副幹事：森田 高史 (伊勢崎RC)

1. 研究グループ交換 (GSE)

2008-2009年度実施されました、GSEの帰国報告をさせていただきました。安藤団長以下3名の団員の方々には大変ご苦労様でした。ご協力いただきました関係各位の方々には心より感謝申し上げます。2009-2010年度の実施は予定しておりませんが、2年後の実施に向けて相手国選定と計画の具体化を図って参りたいと思います。

2. 学友会

元奨学生、GSE参加者等財団学友が中心となったクラブが国内で4クラブ誕生致しました。大変大きな画期的な出来事です。その時だけロータリーとの繋がりではなく、将来のロータリアンとして、又、その経験と情報を浄財を頂いたクラブ、ロータリーにフィードバックしなければなりません。それが財団学友としての大きな役割であります。

当地区に於いては財団学友会が存在しておりませんので、学友会設立に向け名簿作りに着手して参りたいと思います。

各クラブの御協力を宜しく御願ひ申し上げます。

3. ポリオプラス

2月の国際協議会に於いて、ビルゲイツ財団による2億5,500万ドルの補助金の授与を受けRIは2012年6月30日迄に調達する2億ドルチャレンジを開始致しました。それを受けて当地区では各クラブ2,000ドル、計9万400ドルをDDF (地区活動資金) より拠出する事を決定致しました。しかしこれは繰越金があったから実行できる事であり、次年度以降は予測が立ちません。

この厳しい社会状況の中で会員の方々に寄付を御願ひするのは甚だ心苦しい事ではありますが、ご理解を頂いて財団寄付1人100ドル以上の地区目標をクリアして頂く事を心より御願ひ申し上げます。

米山記念奨学委員会



委員長 中繁 基
(館林西RC)

委員 長：中繁 基 (館林西RC)
 委員：相沢 克也 (前橋東RC)
 委員：宮下 博躬 (渋川みどりRC)
 委員：静 朋人 (碓氷安中RC)
 委員：長柄 純 (館林RC)
 委員：嶋田 佳幸 (富岡かぶらRC)
 委員：板垣 忍 (前橋RC)
 アドバイザー：松倉 紘洋 PDG
 担当副幹事：大澤 孝一 (伊勢崎RC)

米山記念奨学会の事業は、日本のロータリークラブの活動の中で、最も誇れる重要な奉仕活動であります。

日本で学ぶ私費留学生に対して、より一層安心して勉学に励む奨学制度であることは皆さん周知の通であり、日本国内全地区による「多地区合同奉仕活動」であります。ロータリークラブが目指す世界平和と親睦を実現するものであります、RIでも認められた日本独自の国際奉仕事業であります。

米山記念奨学会の事業は、全ロータリアンの皆様の善意の寄付で運営されております。本年度は会員皆様の心温かい寄付によりまして21名の奨学生(2年目7名、新規14名)を迎えることが出来ました。

そして本年度、牛久保ガバナリーは地区寄付目標額を1人15,000円と掲げました。かつて経験のない経済不況の中、誠に恐縮に存じますが目標が達成出来ます様、伏してお願い申し上げます。

本年度、今日までの地区米山記念奨学委員会活動

1. 指定校担当職員との打合せ会

日時：2009年8月28日(金)
12:30～15:30

会場：クレインパーク山楽荘(伊勢崎市)
指定校(8校) 関東学園大学、群馬大学、上武大学、高崎経済大学、前橋工科大学、高崎商科大学、東京福祉大学、群馬県立女子大学

2. 米山記念奨学セミナー

日時：2009年9月19日(土)
12:00～16:00

会場：クレインパーク山楽荘(伊勢崎市)

内容：DVD映写“すばらしい贈り物”
講話“米山記念奨学事業について”
米山記念奨学会常務理事
高木 貞一郎
分科会「米山記念奨学寄付増進について」
米山記念奨学生卓話 2名

本年度今後の地区米山記念奨学委員会活動予定

2009年10月24日(土)～25日(日)

米山群馬学友会ライラ参加

2009年12月13日(日)

学友会クリスマス会

2010年 1月17日(日)

奨学生選考会

2010年 2月20日(日)

奨学生終了式・歓送会

2010年 4月17日(土)

米山奨学生カウンセラーセミナー

2010年 4月17日(土)

新規奨学生オリエンテーション

2010年 6月 5日(土)

米山奨学学友会総会

地区研修委員会



委員長 清 章司
(藤岡RC)

- 委員長：パストガバナー
清 章司 (藤岡RC)
(地区研修リーダー)
- 委員：パストガバナー
曾我 隆一 (前橋RC)
- 委員：パストガバナー
横山 公一 (沼田RC)
- 委員：川堀 良治 (桐生南RC)
- 委員：保坂 充勇 (沼田RC)
- 委員：本田 博己 (前橋RC)
- 委員：竹内 嘉一 (前橋西RC)
- 担当副幹事：森田 高史
峯岸 則幸
藤丸 兼一 (伊勢崎RC)

地区研修委員会の役割は、ガバナーおよびガバナー・エレクトを補佐して、クラブや地区指導者の研修を企画・実施することです。

地区リーダーシップ・プラン (DLP) に基づき指名された地区研修リーダーが地区研修委員会の委員長となり、副委員長に二人のパストガバナーを配し、研修・教育の経験を有する地区役員経験者が委員となっています。(2840地区では、特別委員会として、他の委員会と兼務可)

これまで、地区レベルの研修として、ガバナー・エレクトと協力し、ガバナー補佐の研修、「地区チーム研修セミナー」(2月7日)、「会長エレクト研修セミナー (PETS)」(3/14~15)、「地区協議会」(5/16)、「地区会員増強セミナー」(6/6)の企画立案と指導を行いました。

ガバナー年度に入ってから、「四大奉仕セミナー」(9/6)、「地区指導者育成セミナー」(10/17)を企画・指導しました。

また、「クラブレベルの指導者育成」も地区研修委員会の重要な使命と考えてい

ます。各クラブに配置された「クラブ研修リーダー」を支援し、クラブ研修のテキスト『ロータリーの基本』の提供や研修講師の派遣も行っています。「クラブ研修リーダー」の皆様には、積極的に地区のホームページの情報や地区会合(セミナー、地区大会等)を活用いただき、クラブにおけるロータリー研修の充実に努めていただくようお願い申し上げます。

(牛久保ガバナー事務所のホームページ
<http://www.rid2840.jp/ushikubo/>の「クラブ研修」欄、「クラブ支援ツール」欄の「卓話・研修出前サービス」参照)

危機管理委員会



委員長 森田 均
(渋川RC)

委員長：森田 均 (渋川RC)
副委員長：山崎 學 (高崎南RC)
委員：蛭田 義徳 (太田中央RC)
委員：川越 英子 (群馬境RC)
委員：五味 典雄 (前橋RC)
担当副幹事：峯岸 則幸 (伊勢崎RC)

危機管理委員会は、その一般的な提言や研修はさておき、委員会としての多くの活動は休止していることが望ましい委員会である。

国際親善と世界理解を希求するロータリーの重要な国際プログラムの1つ「青少年交換プログラム」において、これまで、稀に、当事者である青少年が、事件、事故あるいはハラスメントの被害を蒙り、トラブルが生起するということがあり、かねてより憂慮されていた。

そこで国際ロータリーは、2004年11月、理事会決定として、地区レベルでの青少年交換における保険加入さらには危機管理についての具体的指針の策定義務を明らかにした。

これを受けて当国際ロータリー第2840地区においては、2006年10月22日、危機管理規定を制定すると同時に当委員会の発足を見た。

また近時、NPO法人「国際ロータリー日本青少年交換委員会」が設立され、これと東京海上日動火災保険株式会社の間にお

いて、交換留学生の受入および活動支援業務を特別約款とする対人賠償保険が締結されている。

当委員会は、「青少年交換プログラム」に参加する全ての青少年の安全と健康及び健全な生活を守るべく

- ①ガバナー及び地区青少年関係委員会に対し、必要な提言を行うこと
 - ②青少年に対するセクシャルハラスメント及びアビュースの防止に関する研修を行うこと
 - ③事故発生時の事実関係の調査
 - ④③を踏まえ、ガバナー及び地区青少年関係委員会に対し、対策案を作成し、必要な提言を行うこと
- などを主な業務とすることとなっている。

ところで当委員会は、発足以来、地区の各種研修において啓発活動を行っており、本年度はこれまで幸いその余の活動の必要性を認めたことはないが、今後とも、有事の折には、早急かつ適切な対応がとれるよう心掛けたい。